

諸鬼悉走、所以世俗行之、其方用武都雄黃丹散二兩、蠟和令調如彈丸、正月旦令男左女右帶之、
〔土左日記〕元日なほおなじとまりなり、白散をあるもの、夜の間に船やかたにさしはさめりければ、風にふきながさせて海にいでて、得のますなりぬ、

〔菅家文章詩〕元日戲諸小郎仁和五年

珍重行年五九春、可憐兒輩二三人、不須多勸屠蘇酒、其奈家君白髮新、

〔改正月令博物筌 正月〕朔日 屠蘇、白散中略併、數の子に、とその末座を講れ、會月懸、駭に夫婦時宜、とその酒、爪蒿

〔續山の井 春〕屠蘇

とその酒を祝ふや貴賤上戸下戸

播磨河合義貞

家々のかげん同銘やとその酒

友光

〔増山の井〕たうやく千瘡萬病膏

〔世諺問答〕正月 問て云、三日にたうやくとてつくる事侍るにや、答、たうやくは膏藥なり、かうやくといふは、きゝ、わろきによりて、たうやくといひかへたり、延喜式には千瘡萬病膏といへり、もろもろのかさ、よろづの病をなほす功のうあるにや、さて御藥の儀式は三ヶ日あり、第三日にはこれをつけ給なり、

〔延喜式三十七〕元日御藥中宮准此

白散一劑、度障散一劑、屠蘇一劑、千瘡萬病膏一劑、供藥漆案三脚一脚安、散膏、一脚安、屠蘇、鎗子、花足、一脚安、酒盞、銀盞一合、銀盤一口、白銅鏡一合、白銅蓋子四合、朱漆下食盤八合徑八寸、並收察、囊一口長三寸、囊緒絲一兩、紙廿張、木綿三分、所須人參七兩三分、甘草六兩二分、桂心三分請內藏察、白朮二兩三分、大黃一兩二分、附子三兩二分、蜀椒二兩三分、防風三分、烏頭一兩一分、細辛三兩、拔葵二分、干薑一分、麻黃一兩一分、桔梗三兩一分、當歸一兩、大戟二兩、升麻一兩、白芷一兩、芍藥一兩、茵草一兩、黃芩一兩、獨活一兩、地衛一兩、生地黃

藥方